

令和6年度県外見学会
紅の世界 ベンガラと銅の町 備中吹屋を見に行こう

広島支部 若井 信

令和6年12月8日、岡山県高梁市の成羽美術館、頼久寺、吹屋のまちなみの3か所を巡る県外見学会に参加しました。

1 成羽美術館

元を辿ると岡山県下初の町立美術館として昭和28年に開館した由緒ある美術館です。平成6年に移転新築する際、安藤忠雄氏の設計により、3代目美術館として開館されました。美術館は、大名屋敷跡の石垣が残り、背後まで緑の急斜面が迫る、自然と歴史を強く感じさせる場所に建築されていました。

2階の美術館の受付に至るまで伸びるスロープからは「流水の庭」という大きな人工池が臨め、これが安藤忠雄氏ならではの寡黙なコンクリートと険しい緑の急斜面という真逆の表情をマイルドにしていました。人工池は、美術館の中に取り込まれるように造られた「静水の庭」というものもあり、やはりコンクリート壁との相性は良いものでした。

驚愕の空間だったのは、屋外から利用できる記号のトイレ。安藤忠雄氏と親交の深い向井修二氏の監修により、新築会館20周年という節目の年にトイレが記号で埋め尽くされたようです。インパクトがあるので、訪れることができましたら是非ご覧になってください。



2 頼久寺

足利尊氏が諸国に命じて建立させた安国寺の一つです。頼久寺の庭園は国指定名勝で、備中国奉行の小堀遠州による初期の蓬萊式枯山水庭園です。「鶴亀の庭」と呼ばれる天下の名園で、愛宕山を借景に、砂の波紋で海洋の感じを出し、中に鶴亀二島を配し、さらに、大海の波をあらわすサツキの大刈り込みで背景を整えているとのことでした。成羽美術館で“庭”と名前の付く人工池を見た後の見学だったため、水を使わない枯山水式庭園は対照的で、とても味わい深く感じました。



3 吹屋のまちなみ

まず、明治33年に建築され、平成24の閉校まで「現役最古の木造校舎」として使用された旧吹屋小学校の復元校舎を見学しました。木造のため防災的には不利ですが、木の温もりがある良い建物だと感じました。全解体し、復元したとは感じない完成度でした。

次に、吹屋のまちなみを歩きました。見学会当日は、雨模様だったため長居はできませんでしたが、ベンガラを混ぜた漆喰壁や赤い石州瓦に包まれた光景から、当時、吉岡銅山とベンガラの生産でかなり繁栄したまちであったことが窺えました。



4 所感

見学会当日は生憎の雨模様でした。

しかし、例年にない大人数(33名)での開催となり、普段交流のない方々と一緒に建物を見て歩くのは、自分とは異なる視点からの感想も聞くことができたのでとても実りある見学会でした。

来年度も是非参加したいと思います。



表紙写真について

Tachibana Dog base

- 設計・監理／CASA×LABO
株式会社幸工務店一級建築事務所
- 施工／しまなみリゾート開発
- 所在地／広島県尾道市向島町
- 用途／一戸建ての住宅
- 構造規模／木造平屋建て
- 敷地面積／699.68㎡
- 建築面積／114.27㎡
- 延床面積／104.75㎡
- 竣工日／2024年2月27日

瀬戸内海国立公園内(第3種特別地域)に建つ、平屋建ての個人住宅。美しい瀬戸内の多島美を眼前に、世界に誇る立地に犬とともに暮らすことを第一義に計画した。また、オーナーは長年獣医として地域社会に貢献しており、この類まれなる広い立地を活かし、将来的に愛犬家が犬とともに交流できるドッグランを構想している。

建物は周辺の山並みに溶け込むよう、高さをおさえて平屋建ての片流れとした(環境省による自然公園法の規定により、片流れは認められず一部返し屋根を設けてある)。

内部は、犬と快適に暮らす工夫がされており、無垢材のフローリング、漆喰をベースに、タイルやブリックの多用で海辺のリゾート感を演出している。広大な芝生広場と建物をつなぐデッキは、照明デザイナーによるライトアップやミニキッチンも備え、外と内の中間領域で人と犬が自然公園内の海と緑を存分に満喫できる。また、アレクサ等のネット回線を用いた最新のAIによる操作も随所に計画した。



CONTENTS

表紙写真について	2	基礎から学べる建築士会のAIセミナー	8
新年のごあいさつ	3	パラコードクラフト～防災プレスレットをつくろう	8
まちづくり委員会 活動報告	4	市民と都市・地域社会を結ぶプラットフォームへ	9
令和6年度「県内研修会」に参加して(呉支部)	5	賛助会員紹介	10
ひろしま建築学生チャレンジコンペ2024最終審査会	6	CPD認定プログラム・ぷろじえくとニュース	12
第19回ひろしま街づくりデザイン賞受賞作品	7	令和6年度県外見学会(広島支部)	14

新年のごあいさつ

(公社)広島県建築士会 会長
佐名田 敬荘



年頭にあたり、会員の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

日頃より本士会の活動にご参加ご支援をいただき心よりお礼申し上げますとともに、本年もより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本士会では、会員への情報提供や研修、交流など会員向け

の活動はもとより、建築士資格に関する試験の実施や資格の登録、建築士の職能について情報提供等を行うとともに、県内の各支部において建築やまちづくりに関する情報発信を行うなど公益事業を中心に活動しています。また、行政との連携も積極的に行っており、昨年は、県産木材の利用促進や災害対策の推進に向け、関係自治体と協定を締結し協力体制を強化しました。

行政との連携については、昨年4月に広島県と(一社)広島県木材組合連合会、本士会の3者により「建築物の木材利用促進に関する協定」を締結しました。この協定により本士会は、中大規模木造建築物に関する構造設計演習セミナーの開催など木造建築物の設計・施工に関する人材の育成とともに、木造建築物の普及啓発を行うことにより県産材の利用促進に貢献することになりました。

また、昨年6月には広島市と(株)坂茂建築設計、本士会との3者により「災害時における避難所用間仕切りシステムの供給に係る協定」を締結しました。この間仕切りシステムは、一昨年に本士会創立70周年記念事業で講演いただいた建築家 坂茂氏から紹介されたもので、被災者のプライバシーを確保する避難所生活の環境改善に資するシステムです。避難者のプライバシー確保は、近年発生頻度が高まっている災害において重要なテーマと考えています。

本士会では、これまでも熊本地震の被災地への応急危険度判定士の派遣や、西日本豪雨災害では建築相談員の派遣等を行ってまいりました。今後は、これらの活動に加え、避難所間仕切りの設置計画の策定やその設営についても、役割を担うこととなります。この協定を機に、本士会では、災害発生時や防災に関する取り組みを強化するための体制として、昨年3月に災害対策委員会を新たに設置し、技術者の育成などの取組みを推進することとしています。

本年4月から建築基準法と建築物省エネ法が大幅に改正され、これに合わせて設置される広島県サポートセンターにおいて、建築士事務所協会と本士会が事務局を担うことになっています。事業内容としては申請図書作

成や申請手続きについて個別にサポートするものですが、今年からの新規事業であり、建築士事務所協会と相互に協力し合って取り組みたいと考えています。

日本建築士会連合会においては、昨年鹿児島県において「もえよ！建築維新～たぎる地で築くみらい～」をテーマに全国大会を開催され、式典やセッションには全国から3,000名を超える会員が集い、熱心な討議が行われました。式典後の大交流会では、鹿児島ならではの芋焼酎、黒糖焼酎が数多く振る舞われ、黒牛や黒豚、黒さつま鶏など鹿児島島の豊富な食材と相まって懇親を深め、鳥唄などのアトラクションも堪能させて頂きました。今年の大坂大会は、万博と時期を合わせて開催される初めての全国大会でもあり、期待を膨らませているところです。大阪士会では4,000名の参加を予定されているようですので、皆さま方の参加をお願いします。

一方、アメリカ大統領選挙における自国第一主義を掲げる大統領候補者が選出され、また、令和4年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻が長期化している中、イスラエルとパレスチナ・ガザ地区も戦闘が続くなど世界各地で緊張が継続し、社会経済が不安定化しているところです。

国内においては、昨年の衆議院選挙における与党の過半数割れや、物価の上昇による個人消費の停滞など、先が見通し難い状況となっています。こうした中であっても本士会が魅力的な会となるために、会員交流事業はもとより、BIMや建設DX、生成AIなどの先端技術をはじめとした諸事業に積極的に取り組み、会員の皆様方の絆を一層深めることができるよう努力してまいります。

県内の各支部に目を向けて見ますと、会員数をはじめ取り巻く状況がそれぞれ異なっており、各支部の実情に応じた対応や、支部活動と本部活動との連携、各委員会相互の連携も必要ではないかと感じています。こうした点についても、可能な限り目を向けて、より良い活動が展開できるよう努めていきたいと考えています。

会員の皆様には、今年の士会活動について引き続きご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年も、よろしくご挨拶致します。



令和6年度中四国ブロックまちづくり委員長会議

今年度は、広島県が中四国ブロックの幹事県ということで、様々な委員会が広島県で執り行われています。その一環で、令和6年度中四国ブロックまちづくり委員長会議が令和6年11月30日、12月1日に広島県で行われました。

中四国ブロックまちづくり委員長会議は、中四国の各県の建築士会のまちづくり活動及び委員長やメンバーの自己紹介を発表するもので、様々なご当地の活動を聞かせていただきました。(会報のページ数があればそれらを全て皆さんにご紹介できるのですが)古建築の保存活用の話が多かったですが、徳島のひょうたん島からの景観を考える活動や島根の景観の計画を知らせずイメージで話してもらうことにより議論ではなく全体の雰囲気を目指して景観を作る話など、景観の話も面白いものがありました。

エキスカッションは、広島駅の見学と、エキキタエリアマネジメントの講習と見学の2種類を2日に分けて行いました。

広島駅については、広島駅南口広場の再整備等について、広島市道路交通局交通施設整備部広島駅南口整備担当主任技師 江南大樹さんに、広島駅ビル建替について、西日本旅客鉄道(株)大阪工事事務所広島駅ビル工事係長 石田恒二さんにお話しただき、工事現場を見学させていただきました。駅も大分完成してきていますが、駅周辺の区画整理などのまちづくりの中で、電車が見えなくなる形、水面をイメージした様々なテキスタイル、色々な主体が、色々な構造物を様々な工夫で作っている様子など、手間暇かけた詳細と大架構の共存共栄に感じました。

エキキタエリアマネジメントについては、復建調査設計(株) 社会デザイン創発センター 副センター長 宇山 穂さんにお話しただき、案内していただきました。公共ではできない建物間の緑化や管理、活用などを、エリアマネジメントとして町内会や企業を巻き込み行っていることを、仕組みを聞いて現場に行くと、凄いことであることがわかり、見えないことが見えてきて、より空間を堪能することができました。



白市町家巡り見学会・講演会

令和6年11月16日(土)13:30~17:00に白市の町でNPO法人白市町家保存会、ヘリテージ協議会東広島地域部会、ヘリテージ協議会広島地域部会、広島県建築士会まちづくり委員会の主催で白市アートフェスの一環で当該イベントを行いました。30人ご参加いただき、盛況でした。

見学したのは、国指定重要文化財 旧木原家、登録有形文化財 伊原正三家、登録有形文化財 伊原惣十郎家、登録有形文化財 大藤家、保手浜家です。

案内は、奈良女子大学生生活環境学部住環境学科教授 藤田盟児先生、東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 吉野健志さん、建築士会まちづくり委員会のメンバーで行いました。



白市は戦国時代の文亀3年(1503)、平賀家が白山の頂上に城を築いたことを契機に、城下町としてつくられたまちです。江戸時代になると人と物が行き交う商人の町として栄えていき、昭和初期頃まで、牛を売り買ひする「牛馬市」がたちぎわいました。丘陵状のまちに赤瓦(石州瓦)が連なる家並みと木々の緑のコントラストが美しいです。今残っている一番古い町家が江戸初めの「旧木原家住宅」。明治、大正、昭和と各時代の町家が残っています。それぞれの建物は巧みな職人技が随所に見て取れ、この時代の地方大工の技術の高さを示しています。

講演は奈良女子大学生生活環境学部住環境学科 教授 藤田盟児先生より「白市の町家の魅力」という表題でお話しいただきました。伊原正三郎家で行いました。藤田先生の藤田先生らしい建物愛のあふれる表現で、また目からうろこがバンバン落ちました。

来られた方も満足された様子で、よいイベントになりました。

まちづくり委員会では、色々イベントも行っております。委員も募集しております。よろしければぜひご参加ください。



■はじめに

「呉地区支部」改め「呉支部」では会員の研修活動の一環として、県外研修会と県内研修会を隔年で実施しています。この研修会は呉建築セミナーに講師として来ていただいた先生の作品や建築雑誌などで話題となっている建築物を実際に見ることで専門知識やスキルを高めることを目的としています。

今年度は県内研修会(厳密には山口にも行っている日帰り研修会)として、大竹市の下瀬美術館と岩国市の岩国徴古館を訪問しました。



■下瀬美術館

11月24日(日)快晴 8時30分 呉建設会館に参加者17名全員が揃い、一行を乗せたバスはクレアライン、山陽道を進み大竹市の「下瀬美術館」を目指します。

下瀬美術館は、広島県大竹市に2023(令和5)年3月に開館した美術館です。設計は建築家の坂茂氏が手掛け、海辺に浮かぶような独特のデザインが特徴です。坂茂氏は1996年に開催した第13回「呉建築セミナー」に講師としてお迎えしており呉支部とも縁のある先生です。

この美術館は、大竹市役所の東側の海沿いに建てられていますが、連なる商業施設の裏側に位置し国道からのアクセスが少し分かりにくいです。入り口に着くと海浜公園のように整備された広い敷地が見えてきます。左側には駐車場が配置され右側には美術館のエントランスに続く樹木がバランスよく配置された車道と遊歩道が平行に整備されています。

遊歩道を抜け建物に近づくると海岸線と平行に並び建つエントランス棟、企画展示棟、管理棟が見えてきます。この3棟は、渡り廊下を含めたすべての外壁が長さ190m、高さ8.5mの「ミラーガラス・スクリーン」で一体化されその外観には圧倒されます。

建物の前には、四季折々の草花が見られるエミール・ガレの庭も造られていますが、そのミラーガラス・スクリーンによってこれらのランドスケープが映り込み、瀬戸内海の風景が増幅されつつ、大きな建物である美術館の存在感を消す設計となっています。

建物の海側には水深15cmの水盤を設け、そこに色とりどりのカラーガラスに覆われたキューブのような8つの展示室が浮かんでいるように配置されています。

信じられないのですが、この8つの展示室は水深を60cmにすると実際に浮かび移動させることができる可動展示室となっているそうです。スロープで上がっていく望洋テラスからは、厳島を初めとする瀬戸内の島々、それと大竹市の工場群を見ることができます。

エントランス棟の入り口を抜けると、大屋根の大空間

が広がります。その中央には、何本もの集成材で構成された柱があり、その集成材がまるで樹木のように天井のびて三次元の格子となって天井(屋根?)を支えています。その細長い集成材で構成された格子のジョイント部には不思議なことに一切金物が見えません。



■岩国徴古館

下瀬美術館の近くの昼食会場で会員同士の懇親を深めた後、午後は岩国の錦帯橋方面に向かいます。ボランティアガイドさんの案内で錦帯橋界隈を散策した後、研修会らしく最後は岩国市の博物館「岩国徴古館」を訪ねました。これまで、岩国には何回か来ていますが、恥ずかしいことにこの「岩国徴古館」に来たのは初めてです。

この「岩国徴古館」は、岩国市出身の佐藤武夫氏が設計し、終戦間近の昭和20年3月に竣工したそうで、戦時中の物資不足の中で、外壁には高炉スラグを利用した鋳造タイルを使用する工夫により石造のような重厚さを有しています。



■おわりに

下瀬美術館を設計した伴茂氏は、紙管パイプを利用した建築で世界的に活躍されていますが、以前から被災地の支援にも注力され紙管パイプによる避難所の間仕切りシステムを各地に提供されています。

去年は、広島県においても広島県建築士会と広島市、伴茂事務所が三者協定を締結し、避難所における支援体制を強化しています。

下瀬美術館にも紙管パイプを利用したベンチが所々におかれ、伴先生の紙管パイプへの思いを垣間見ることができます。

天候にも恵まれ非常に有意義な研修会でした。来年の一泊二日で行う県外研修会を楽しみにして研修会の報告を終わります。

ひろしま建築学生チャレンジコンペ2024 最終審査会を開催しました！

—大西旅客待合所(大崎上島町)—

広島県では、「魅力ある建築物の創造に向けた人材育成」の一環として、全国の建築学生を対象に、「ひろしま建築学生チャレンジコンペ」を平成25年度より実施しています。11回目となる令和6年度は大崎上島町の「大西旅客待合所」を題材として、審査委員長に原田真宏氏(MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO)、審査委員にキノシタヒロシ氏(キノシタヒロシ建築設計事務所)、奥本卓也氏(奥本卓也建築設計事務所)をお迎えし実施いたしました。



原田審査委員長(左)と最優秀作品賞を受賞した小林凌輔さん(右)
(東京科学大学大学院(旧東京工業大学大学院))

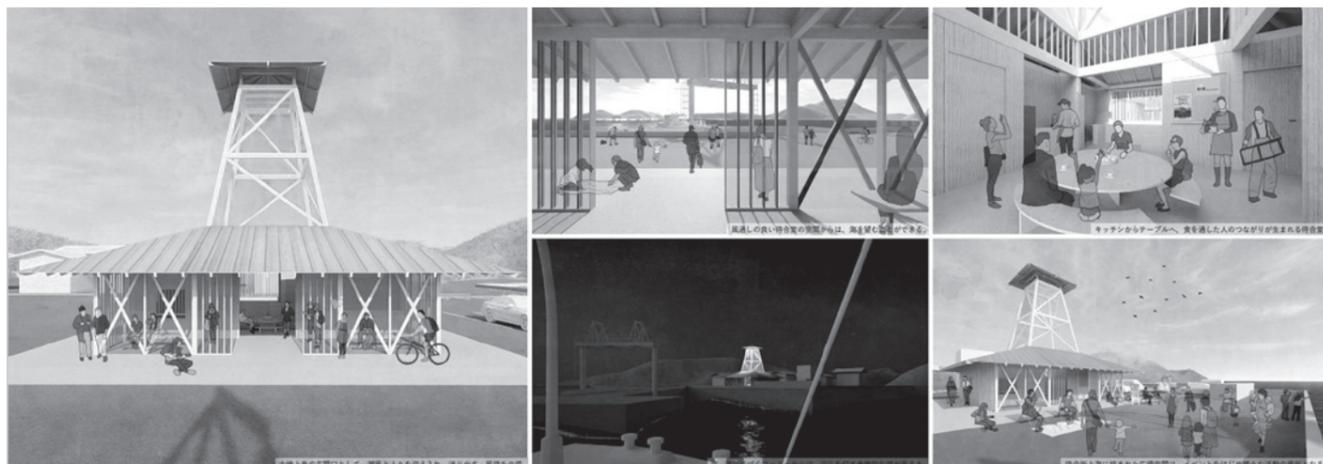
令和6年7月6日(土)よりコンペ応募者を募り、作品を受け付けたところ、49作品(県内14作品、県外35作品)の提出があり、一次審査においてそ



最優秀作品模型

の中から最終審査に進む5作品を決定しました。その後、11月16日(土)に開催した最終審査会では提案者5者によるプレゼンテーション、審査委員による質疑応答・選考を経て、最優秀作品等を決定しました。最優秀作品の提案者には、魅力ある建築物の創造に向けて実施設計の監修に携わっていただくこととなっております。

審査会では、学生の熱のこもったプレゼンに、最後まで、どの作品が選ばれるかわからないほど熱い議論が繰り広げられました。学生が持参した模型はどれも、来場された方を唸らせるほど、細部まで自分たちのこだわりを込めて作り上げられていました。



最優秀作品パース



最終審査会
(令和6年11月16日開催)
の様子

審査会の様子は一般の方に向けてYouTubeでWEB配信を行いました。学生と審査委員のやりとりは、WEB上でも臨場感を味わうことができます。広島県HPより、アーカイブ配信も行っていますのでぜひご覧ください(二次元コードからアクセスできます)。



HP二次元コード



第19回ひろしま街づくりデザイン賞 「SHIMINT HIROSHIMA」が大賞を受賞

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係



大賞：SHIMINT HIROSHIMA(中区基町)

広島市では、街並みや自然への配慮がなされ、良好な景観の形成に貢献している建築物や看板、活動などを表彰し、魅力ある街づくりに対する市民意識の高揚を図ることを目的として、平成6年度から「ひろしま街づくりデザイン賞」の募集・表彰を実施しており、今回で19回目となります。

賞には、「建築物(一般)部門」、「個人住宅部門」、「アート部門」、「広告部門」、「花と緑部門」、「街並み部門」、「景観まちづくり活動部門」の7つの部門賞があり、魅力ある街づくりに寄与する166件もの建築物や看板、活動などのご応募をいただきました。

選考は、本年7月から広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会(会長：田中 貴宏 広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授)において、現地視察を含む計3回の厳正な審議によりなされました。その結果、特に優れたものに贈られる大賞が選ばれるなど、10の物件と1つの活動に各賞が贈られることになりました。

栄えある大賞を受賞したのは、街並み部門の「SHIMINT HIROSHIMA」です。

人の動きと広場との関係を上手にデザインした秀逸な配置計画で、広島都心部に新たな賑わい空間を作り出していることや、低層の木造建物の、樹木を想像させる木質柱のデザインが周辺の木々と調和しており、街中のオアシスとして、象徴的な街並みを形成していることが評価されました。

その他には、部門賞として建築物(一般)部門1件、アート部門1件、花と緑部門2件、景観まちづくり活動部門1件、奨励賞として5件が、受賞作品として選ばれました。いずれの受賞作品も、場所の特性を捉え、用途に応じて見せ方を工夫し、その場に馴染むデザインや取組となっており、広島市の街並みの魅力を高めるものです。

本市では、「世界に誇れる『まち』」の実現に向けて、美しく品のある都市景観を創出するため、本表彰をはじめ、景観計画に基づく協議制度などさまざまな取組を進めていますが、景観づくり、より愛着の感じられる街づくりには、もとより事業者や市民の方々との連携・協働が欠かせません。今後も広島らしい景観づくりのために、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

なお、次回のひろしま街づくりデザイン賞は、令和7年秋頃に募集開始予定ですので奮ってご参加ください。

第19回ひろしま街づくりデザイン賞 表彰式のご案内

日時 令和7年1月22日(水) 14:30~
(パネル展示 10:00~18:00)

場所 紙屋町シャレオ中央広場

受賞作品の表彰及びこれまでの受賞作品のパネル展示を行います。ぜひお越しください!

ひろしま街づくりデザイン賞 検索



上段左から【部門賞】建築物(一般)部門：VOXEL APARTMENT、【部門賞】アート部門：世界で一番、静かである地下通路
【部門賞】花と緑部門：ユリハープ園/MUSIMPANEN、【部門賞】景観まちづくり活動部門：まちなか西国街道推進事業
下段左から【奨励賞】建築物(一般)部門：広島JPビルディング、【奨励賞】個人住宅部門：光と緑があふれる事務所併用住宅/石内の家
【奨励賞】アート部門：広島赤十字・原爆病院(メモリアルパーク)、【奨励賞】街並み部門：SATONOWA ヴェルコート牛田早稲田

基礎から学べる建築士会のAIセミナー

～セミナーに参加してみた～

尾道支部 米田 雅治

9月27日に建築士会一のITオタクこと北村圭氏による建築士会のAIセミナー第2弾が行われた。

まずはAIの歴史から概要の説明があり、現在のAIが持っている知識が医師免許試験を合格できるところまで来ていて、10年以内には全人類の叡智の10倍になり、20年以内には全人類の叡智の10,000倍になると予想されている。話半分でも、想像もつかないことがこれから起こるのではないかと思う。現在AIが有効に使用されている業界は当然ではありますがIT業界で、特にプログラミングにおいてAIに要望を言ってプログラムを生成しそれを編集する事で生産性を上げている。AIは使い込むほど使用者が要望する答えに近づいてくるので使いこなせばかなり有用なツールとなる。そのためには有料のAIでパラメーターとデータとをひたすら増やせば精度が上がるとのことです。

では具体的に今どんなことが可能なのか、無料で使えるChatGPTでは、文章生成、画像生成、画像解析、音声対応(会話)などかなりのことができるようです。

セミナーでは4名の方が選ばれ、2単語と建築の種類を選んでそこから建築のイメージパースを生成するデモをしました。1件につき数分で画像生成した建築パースが出力されたのには驚かされた。

我々建築業界においては、AIが設計できるのか？というところが気になるが、建築設計のデータが足りない、そもそも建築情報の数値化の方式がないなどの課題がありまだまだといったところだそうです。また、意外と知的生産活動ほどAIは強いそうです。BIMと結びつけばブレークスルーが起こり一気に利用が進む可能性はあるかも。その時我々の仕事の形態はどうなるのか。

最後に自分で「1200㎡の平屋のこども園を設計するにあたり建築基準法上の規制を教えてください。」とChatGPTに問い合わせると9つほどの項目で答えが返ってきた。さらに深掘の質問をするとそれなりの回答が返ってきた。少しは使えるかなと感じたが法律は全て数値化せられておらず解釈の違いもあるので使用には注意が必要かと感じた。とりあえずWEB上でChatGPTを検索し「日本語 | ログイン」で使ってみてはどうでしょう。

公社広島県建築士会 女性委員会主催

パラコードクラフト～防災ブレスレットをつくろう in おりづるタワー

広島支部 福繁 愛

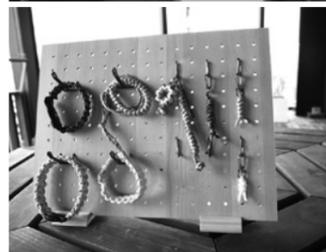
11月17日、建築士会女性委員会主催の防災ワークショップが盛況のうちに終了いたしました。本委員会では、防災への意識を高める活動として毎年様々なイベントを開催しております。

今回のテーマは、災害時に役立つパラコードを使ったブレスレット作り。参加者たちは、カラフルなパラコードを編み込みながら、楽しく防災について学びました。参加者は22名(会員17名(講師含む)、オブザーバー1名、学生4名)。

ワークショップでは、初心者でも簡単に作れるよう丁寧に手順を説明。参加者たちは講師の指導のもと、自分だけのオリジナルブレスレット作りに挑戦しました。完成したブレスレットは、いざという時にはほどいてロープとして活用できるだけでなく、ホイッスルとコンパスと火打石が組み込まれた優れたもの。

参加者同士で作ったブレスレットを見せ合ったり、防災に関する情報交換を行ったりするなど、活発な交流が行われました。「防災グッズを作るのは初めてでしたが、とても楽しかったです」「いざという時に役立つものが作れて嬉しい」といった感想が聞かれました。

ワークショップ後は、女性委員の懇親会としてピクニックを実施。本川の河川敷にてサンドイッチをいただきながら、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。今後は青年委員会と合同でのイベントも予定しているため、青年委員長にもご参加いただきました。女性委員会では今後も様々なイベントを開催し、地域に貢献できるような活動を行ってまいります。



市民と都市・地域社会を結ぶプラットフォームへ

広島支部 木原 一郎

今年度、広島県建築士会広島支部まちづくり委員会では、多くの新メンバーを迎えたことをきっかけに、委員会の今後の取り組みについて議論を行いました。その中で、委員会のあり方にも話題が及びました。

議論の結果、複雑化するまちづくりの課題に対して、市民が積極的に参画できる場が必要だと考えました。そこで、まちづくり委員会が建築士の専門性を活かし、市民と都市・地域社会を結ぶプラットフォームとしての役割を果たすという方針を打ち出しました。

この方針に基づき、今年度は広島大学大学院先進理工系科学研究科の田中教授の研究室の学生や、まちづくり団体(エリアプラットフォーム・カミハチキテル)と共に、広島都心部での社会実験において、ワークショップと空間展示を実施しました。

まず、10月21日には、広島県建築士会広島支部まちづくり委員会(7名)と、学生(5名+田中教授)で、山口大学大学院創成科学研究科(工学系学域)の宋教授から「社会実験とは一都市デザインにおける意義」というレクチャーを受けました。社会実験においては、データを収集して分析し、その結果を市民にもわかりやすく伝えることが重要であると教えていただきました。その教えを踏まえ、どんなデータを収集するか等の調査の概要や空間展示の構成等を、まちづくり委員会委員が作成した図面をもとに検討しました。当日までの準備は主に学生が中心となって進め、まちづくり委員会委員やまちづくり団体がフォローしながら進めました。

11月3日(日)と4日(月・祝)の2日間開催された、広島都心エリア(広島駅周辺地区から紙屋町・八丁堀地区)の複数拠点を回遊して楽しむイベント「CITY SCAPE!」の中で、ワークショップと空間展示を実施しました。会場は、ひろぎんHD本社ビル内の「トゥモロウスクエア」の屋内・屋外スペースで、学生(延べ13名)とまちづくり委員会(延べ8名)が運営を担当しました。

ワークショップは11月3日に実施し、20組の市民が参加してくださいました。参加者には、将来の相生通やひろぎんHD本社ビル前の通りに設置するストリートファニチャーについて考えてもらいました。翌日4日(月・祝)には、ワークショップで提案されたアイデアの1つを実際に再現し、空間展示に追加しました。

屋外スペースでの空間展示ではまちづくり団体が提案する将来の相生通のビジョンの一端を再現し、グリーンファニチャー(植栽と屋外家具を組合せたもの)の利用状況などを調査しました。多くの方にご覧いただき、60名以上の方に空間を利用・体験していただきました。前面道路の通行量調査、利用状況・利用密度調査も行い、データを収集することができました。アンケート・ヒアリング調査では、多くの市民から貴重な意見をいただき、グリーンファニチャーの効果やデザインを多角的に検証することができました。

今回の活動を通じて、市民と都市・地域社会を結ぶプラットフォームとして、建築士の専門性を学生や市民に伝えることができた実感しています。

調査結果やアンケートの分析結果については、今後報告会を開催する予定です。ぜひそちらにもご参加ください。



イーイング・コーポレーション(株)
代表取締役 平岡 栄作
〒733-0037 広島市西区西観音町4-1
☎082-297-2022
https://eing.co.jp

井本建設(株)
代表取締役 井本 成一
〒737-0814 呉市山手1-1-33
☎0823-23-2506
https://imoto-build.jp/

(株)ウッドワン
代表取締役社長 中本 祐昌
〒738-8502 廿日市市木村港南1-1
☎0829-32-3333
https://www.woodone.co.jp/

日建学院広島校
(株)セイブコーポレーション
代表取締役 仲西 毅
〒730-0016 広島市中区鞆町14-11
ウイング八丁堀ビル8F
☎082-223-2751
http://www.ksknet.co.jp/

(株)総合資格学院
広島支店
代表取締役 岸 和子
〒730-0037 広島市中区中町7-35
和光中町ビル4F
☎082-542-3811
http://www.shikaku.co.jp

大成建設(株)
中国支店
常務執行役員支店長 中屋 亮
〒730-0041 広島市中区小町2-37
☎082-242-5335
http://www.taisei.co.jp

江田島市都市整備課
市長 土手 三生
〒737-2297 江田島市大柿町大原505
☎0823-43-1647
http://www.city.etajima.hiroshima.jp

大之木建設(株)
代表取締役社長 大之木 洋之介
〒737-8502 呉市中央3-12-4
☎0823-26-1523
http://www.onoki.co.jp

岸工業(株)
代表取締役会長 岸 昭文
代表取締役社長 岸 哲太郎
〒734-0023 広島市南区東雲本町2-15-7
☎082-282-1461
https://www.kishikogyo.co.jp

大和ハウス工業(株)
中国支社
支社長 支配人 岩淵 義徳
〒733-0834 広島県広島市西区草津新町2-21-69-11
☎082-501-3470
https://www.daiwahouse.co.jp/

中国電力(株)
管財部門(建築)
部長・執行役員 阿比留 哲生
〒730-8701 広島市中区小町4-33
☎082-544-2519
http://www.energia.co.jp

(株)ティーエス・ハマモト
代表取締役 濱本 利寿
〒731-0135 広島市安佐南区長束4-16-2
☎082-238-1511
http://www.ts-h.co.jp

(有)キョウヤマ
代表取締役 三田 敏則
〒733-0012 広島市西区中広町2-14-21
☎082-532-3067
http://kiyouyama.jp

(株)共立
代表取締役 沖元 周二
〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16
☎082-246-4151
https://www.kyoriz.co.jp

クマリフト(株)
代表取締役 熊谷 知哉
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-12-20
☎06-6445-6700
https://www.kumalift.co.jp

TOTO(株)
中国支社
支社長 木下 実
〒734-0014 広島市南区宇西4-1-36
☎0570-03-7771
https://jp.toto.com/

ナイス(株)
中国ブロック 広島営業所 所長 大竹 泰弘
〒738-0034 廿日市市宮内六本松917-13-2F
☎0829-39-3333
https://www.nice.co.jp/

(株)長崎塗装店
代表取締役 長崎 邦彦
〒733-0036 広島市西区観音新町1-7-24
☎082-233-5600
http://www.nagasaki-toso.co.jp

グラフィソフトジャパン(株)
代表取締役社長 トロム ペーテル
〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8
アクア博多5F
☎080-2078-1707(担当伊佐野)
https://graphisoft.com/jp

ケイミュー(株)
広島営業所
所長 片桐 公司
〒730-0037 広島市中区中町7-1
☎082-245-0354
http://www.kmew.co.jp/

(株)KI works
代表取締役 井手口 耕三
〒733-0815 広島市西区己斐上2-69-16
☎082-881-1321
http://www.kiworks.info

(株)長沼電業社
代表取締役 長沼 毅
〒730-0036 広島市中区袋町6-14
☎082-248-2501
http://www.naganuma.co.jp

日本 ERI(株)
広島支店
支店長 石木 美都夫
〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4-3F
☎082-211-5500
http://www.j-eri.co.jp

日本住宅パネル工業(協)
西日本支所 広島営業所
営業所長 木本 直樹
〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-35
広島ミクスビル5F
☎082-270-3700
http://www.panekyo.or.jp

(株)ぎょうせい
中国支社
支社長 角丸 実
〒730-8687 広島市中区三川町2-10
愛媛ビル広島5階
☎082-545-7121
https://gyosei.jp/

坂町役場
建設部産業建設課
町長 吉田 隆行
〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜1-1-1
☎082-820-1512
http://www.town.saka.lg.jp

(株)ジェイ・イー・サポート
代表取締役 佐東 政明
〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
☎082-836-3300
https://www.jesupport.jp

ハウスプラス中国住宅保証(株)
代表取締役社長 相本 栄治
〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-3-32
☎082-545-5607
https://www.jutakuhosho.com

広島ガス(株)
家庭用エネルギー営業部
家庭用エネルギー営業部長 小迫 寿雄
〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1
☎082-252-3020
http://www.hiroshima-gas.co.jp

(株)広島建築住宅センター
代表取締役会長 宮地 正人
代表取締役社長 的場 弘明
〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10-3F
☎082-228-2220
https://www.hkjc.co.jp

(株)シーピーユー
小川 吉勇
〒720-0067 広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル6F
☎084-928-6791
https://www.cpu-net.co.jp/

(株)住研社
代表取締役 三浦 誠
〒731-5136 広島市佐伯区桑ヶ園2-1-30
☎082-943-4550
www.hiroshimahatsukaichi.com/

(株)杉田三郎建築設計事務所
代表取締役 杉田 輝征
〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5
☎082-228-2345
http://www.saburoshugita.com/

(株)マリモハウス
取締役社長 向井 芳典
〒733-0821 広島市西区庚午北2-16-4
☎082-500-8391
https://www.marimohouse.co.jp/

(株)ミヤジ
代表取締役社長 宮地 宏治
〒722-0051 尾道市東尾道9-10
☎0848-20-2111
http://www.e-miyaji.com

(有)元廣建築設計事務所
代表取締役 元廣 匡伸
〒722-0037 尾道市西御所町6-15
☎0848-23-5300
http://motohiro-arc.com

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は 迅速、的確な審査で、皆様の建物の安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています

中国エリアをすばりカバーしています

Energy 株式会社 エネルギア
HOUSE PLUS **ハウスプラス中国住宅保証株式会社**
https://www.jutakuhosho.com/

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(遵法性調査、定期報告等)
- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 **ジェイ・イー・サポート**

URL https://www.jesupport.jp/ e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201
東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

CPD 認定プログラム(1～2月の広島県内実施分)

2024年12月10日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
1/25	H1402 壁装施工の実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/26	H1402 壁装施工の実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/27	建築士のための住宅紛争処理支援セミナー	2	広島県建築士会	082-244-6830
1/28	第一種電気工事士定期講習(広島市)1/28	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720
1/31	2024年度日本建築学会支部共通事業「鉄筋コンクリート構造計算規準」改定講習会【広島会場】	5	日本建築学会	082-243-6605
2/ 1	H0402 実践建築設計2次元CAD技術(詳細図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 2	H0402 実践建築設計2次元CAD技術(詳細図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 5	H3202 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 6	H3202 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 8	H1102 実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 8	令和6年度広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(10)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/ 9	H1102 実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/12	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/13	木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計演習(許容応力度設計編)【広島会場】(1日目)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/14	木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計演習(許容応力度設計編)【広島会場】(2日目)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/15	住宅講演会「木と土の建築」	2	広島県建築士会	082-244-6830
2/19	既存住宅状況調査技術者講習(新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
2/21	第一種電気工事士定期講習(広島市)2/21	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720

ふるじえくと PROJECT NEWS ニュース

住宅委員会

住宅講演会「木と土の建築」

～「岩国のアトリエ」日本建築学会作品賞受賞記念講演会～

講師：向山 徹氏
(岡山県立大学教授/向山徹建築設計事務所代表)

日時 2025年2月15日(土) 14:00～16:30(受付:13:30～)

会場 YMCA国際文化センター本館地下1F国際文化ホール
(広島市中区八丁堀7-11)

定員 150名(定員になり次第締め切ります)

参加費 会員・学生 無料、非会員 1,000円

CPD:2単位



岩国のアトリエ 外観

地球が輝き続ける、まちづくりを。

私たちは「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、手掛ける建築・インフラのひとつひとつを丹精込めてつくってきました。これからも豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。



株式会社 竹中工務店 <https://www.takenaka.co.jp/>

本社：〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 TEL:06-6252-1201
東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 TEL:03-6810-5000

安全で安心な住まいづくりを私たちがサポートします!



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

株式会社 広島建築住宅センター

業務内容

- 建築確認・検査
- 住宅性能評価
- フラット35
- 長期優良住宅
- 低炭素建築物
- 住宅かし担保責任保険
- 省エネ関連業務
- すまい給付金サポート
- リフォーム評価ナビ
- 地域型住宅グリーン化事業
- ベターリビングリフォーム審査業務

(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
E-mail info@hkjc.co.jp

福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>